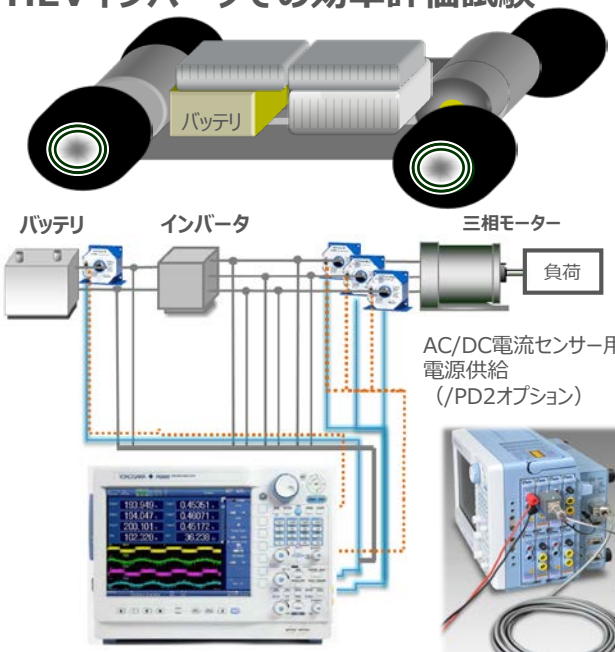
PX8000　EV/HEVインバータ･モーターの過渡電力測定

インバータ･モーターの瞬時的な電力変化や効率評価

EV/HEVのインバータ･モーター評価において入出力パラメータ測定および効率測定は重要な測定項目となっています。また、定常的なデータ収集だけでなく、加速時、あるいは減速時における過渡的な瞬時電力波形の評価も重要な要素となっております。
プレシジョンパワースコープPX8000は、100MS/s、20MHz帯域、かつ12ビットの分解能により、高速のインバータ波形を的確にとらえて、瞬時に変化する過渡的な電力演算ができます。また、電圧/電流の電気信号とともに、トルク及び回転速度も入力できるので、インバータ/駆動モーターのインバータ効率、モーター効率、総合効率の評価ができます。

HEVインバータでの効率評価試験



プレシジョンパワースコープ　PX8000

4chセンサー電源オプション（/PD2）搭載モデル

瞬時電力演算
電圧と電流の波形だけでなく、瞬時電力波形もデータ収集できます（標準装備）。たとえば、モーターの始動時の過渡的な電力波形評価ができます。

カーソル指定区間の電力演算
測定したい波形区間をカーソルで指定することで、指定区間の数値データを演算できます。

CT2000A　CT1000　CT200　CT60

最大2000Aまでの
広帯域DC/AC電流センサー

Copyright © Yokogawa Test & Measurement Corporation